資料2－1

報告事項(2)：地域公共交通網形成計画の数値目標に対する実績について

全体目標

■公共交通利用者数の維持・増加

（交通事業者・知立市データ）

目標とする指標		2017(H29)［現況値］	2021(R3)［実績値］	2022(R4)［実績値］	実績値増加率	2026(R8)［目標値］
市内公共交通計		23, 544人/日	18, 540人/日	20, 042人/日	7.8%	24, 185人/日
内訳	市内鉄道4駅	19, 865人/日	16, 115人/日	17, 332人/日	7.6%	20, 400人/日
	空港アクセスバス	32人/日	1人/日	5人/日	400.0%	35人/日
	路線バス	1, 477人/日	1,100人/日	1,217人/日	10.6%	1, 500人/日
	ミニバス	810人/日	634人/日	667人/日	5.2%	850人/日
	高岡ふれあいバス	341人/日	232人/日	239人/日	3.0%	350人/日
	一般タクシー	1, 019人/日	458人/日	582人/日	27.1%	1, 050人/日

基本方針Ⅱ

■公共交通を利用して知立駅周辺に来訪する人数の維持・増加

（交通事業者・知立市データ）

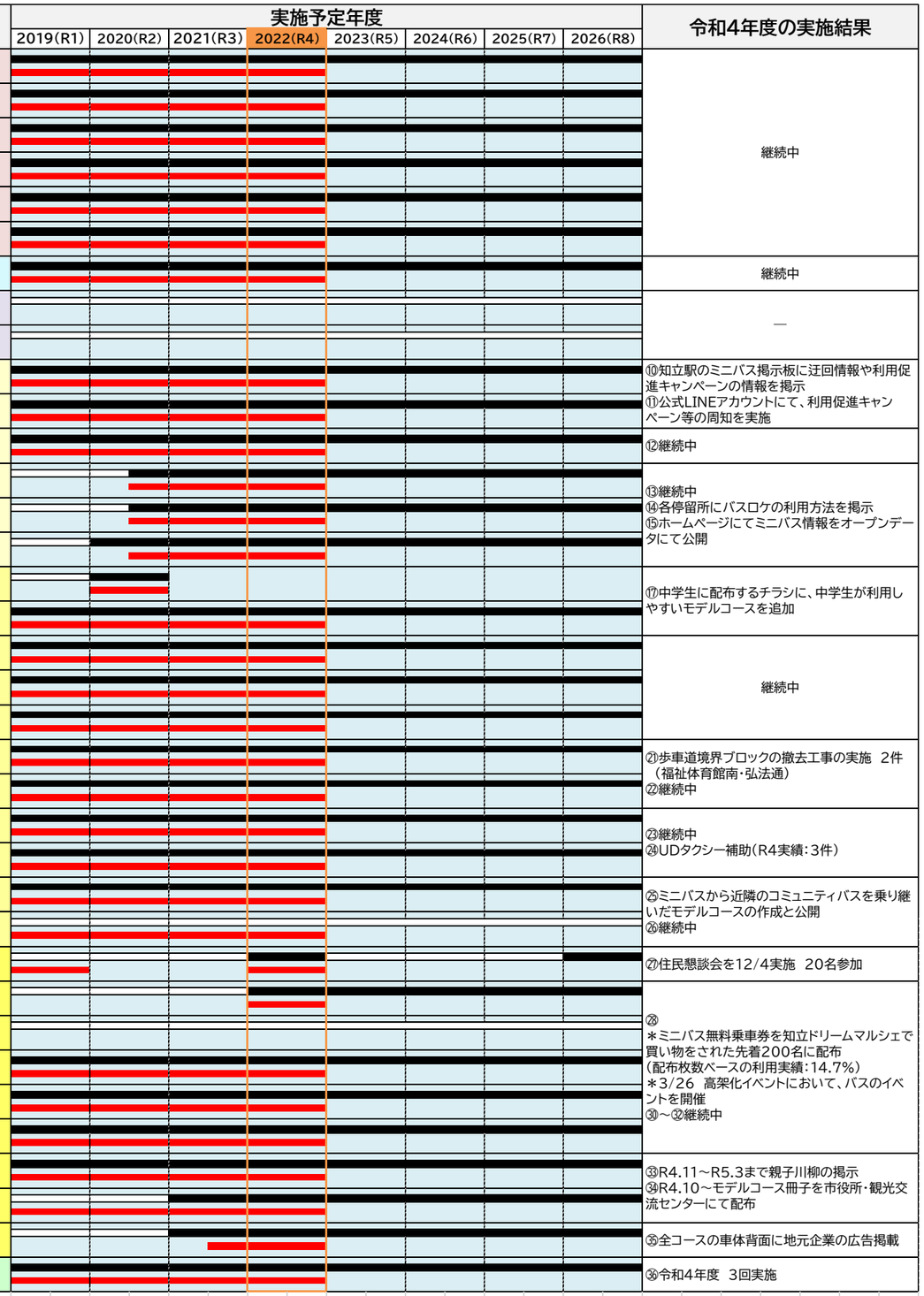
目標とする指標	2017(H29)［現況値］	2021(R3)［実績値］	2022(R4)［実績値］	実績値増加率	2026(R8)［目標値］
知立駅利用者数(鉄道)	16, 544人/日	13, 181人/日	14, 143人/日	7.3%	17, 000人/日
知立駅バス停利用者数（空港アクセスバス）	32人/日	1人/日	5人/日	400.0%	35人/日
知立駅バス停利用者数（路線バス）	1, 456人/日	1,049人/日	1, 165人/日	11.1%	1, 500人/日
知立駅バス停利用者数（ミニバス）	218人/日	166人	171人	3.0%	250人/日

【余白】

資料2－2

知立市地域公共交通網形成計画を達成するためのスケジュールと実施結果

実施事業			基本方針との対応	実施内容	令和4年度の実施結果
1. 路線機能に応じたサービス水準の確保			基本方針Ⅰ・Ⅱ	1. 公共交通軸（鉄道：名鉄名古屋本線・三河線）	継続中
				2. 公共交通軸（広域幹線バス：中部空港アクセスバス）	
				3. 公共交通軸（広域幹線バス：愛教大線）	
			基本方針Ⅰ～Ⅲ	4. 生活交流路線【橙系統】（ミニバス2,3,4コース）（地域間幹線系統補助）	
				5. 生活交流路線【青系統】（ミニバス1,5コース）	
			基本方針Ⅰ・Ⅱ	6. 個別輸送（タクシー）	
2. ミニバスのサービス改善			基本方針Ⅰ～Ⅲ	7. 利用実態や利用者等ニーズを踏まえたサービスの改善	継続中
3. 交通結節点の整備				8. 知立駅のバリアフリー化	―
				9. 知立駅の駅前広場ロータリー整備	
4. 公共交通の利用促進	(1)利用者目線による分かりやすい情報の提供	①公共交通利用に係る積極的な情報提供	基本方針Ⅰ	10. 乗り継ぎ拠点における総合案内板の設置	⑩知立駅のミニバス掲示板に迂回情報や利用促進キャンペーンの情報を掲示 ⑪公式LINEアカウントにて、利用促進キャンペーン等の周知を実施
				11. 市ホームページや市広報等の充実	
		②分かりやすいバス系統表		12. 分かりやすい系統名・バス停名の設定	⑫継続中
		③分かりやすい運行情報・乗継情報の提供		13. バスロケーションシステムの導入（ミニバス）	⑬継続中 ⑭各停留所にバスロケの利用方法を掲示 ⑮ホームページにてミニバス情報をオープンデータにて公開
				14. 分かりやすい運行情報の案内・表示	
				15. 運行情報のオープンデータ化	
	(2)利用促進を誘導する施策	①割引運賃・企画切符等の導入		16. 無料お試し乗車券の配付（ミニバス20周年記念事業）	⑰中学生に配布するチラシに、中学生が利用しやすいモデルコースを追加
				17. ミニバス夏休み中学生無料乗車の実施	
		②移動制約者に対する支援		18. 免許返納者に対する公共交通利用の特典	継続中
				19. 高齢者無料乗車パスの導入	
				20. 障がい者、要介護者向けタクシーチケットの配付	
		③乗継・待合環境等の改善		21. 乗継拠点等における待合環境の改善、バリアフリー化	㉑歩車道境界ブロックの撤去工事の実施　2件（福祉体育館南・弘法通） ㉒継続中
				22. 駐車場・駐輪場の整備・充実	
		④環境や利用者に配慮した車両や制度の導入		23. 低公害車両やノンステップバス等の導入	㉓継続中 ㉔UDタクシー補助（R4実績：3件）
				24. ユニバーサルデザインタクシーの普及	
		⑤利用しやすい公共交通ネットワークの形成	基本方針Ⅱ	25. 近隣市町コミュニティバスとの連携	㉕ミニバスから近隣のコミュニティバスを乗り継いだモデルコースの作成と公開 ㉖継続中
				26. 交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	
	(3)地域づくりと一体となったバスへの愛着を高める施策	①地域コミュニティ形成に向けた取組	基本方針Ⅲ	27. 協働の意識醸成のためのワークショップ等の開催	㉗住民懇談会を12/4実施　20名参加
		②関係機関との連携による鉄道・バス利用促進		28. 各種イベント時における利用促進キャンペーン	㉘ ＊ミニバス無料乗車券を知立ドリームマルシェで買い物をされた先着200名に配布 （配布枚数ベースの利用実績：14.7%） ＊3/26　高架化イベントにおいて、バスのイベントを開催 ㉙～㉜継続中
				29. 主要バス停やバスロケを活用した観光案内・情報の提供	
				30. 公共交通と連携したハイキング・ウォーキングの開催	
				31. 公共交通と連携したレンタサイクル事業の推進	
				32. キャラクター及びロゴマークによるマイバス意識の醸成	
		③地域住民との連携による各種活動の実施		33. バス車内ギャラリーの実施	㉝R4.11～R5.3まで親子川柳の掲示 ㉞R4.10～モデルコース冊子を市役所・観光交流センターにて配布
				34. モデルダイヤ（マイ時刻表）の作成	
		④企業と一体となった取組		35. バス車体・車内への地域企業の広告掲載	㉟全コースの車体背面に地元企業の広告掲載
5. 評価及び推進体制				36. 総合公共交通会議（会議の開催、計画の評価・改善等）	㊱令和4年度　3回実施



【余白】